

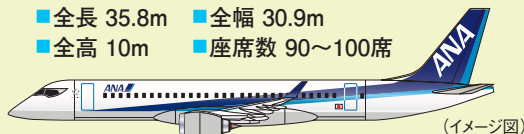
快適性重視の客室空間や環境にも配慮

次世代
リージョナルジェット※1

2013年以降導入予定

MRJ※2の導入を決定

- 全長 35.8m
- 全幅 30.9m
- 全高 10m
- 座席数 90～100席



三菱重工業(株)が開発を決定した次世代のリージョナルジェット機「MRJ」の導入を決定しました※3。

ANAはローンチカスタマー(初めての発注会社)として合計25機(うち10機オプション)発注、今後のMRJ開発計画にも積極的に参画し、お客様のニーズを新しい航空機に反映させてまいります。

同機はリージョナル機としてはじめて主翼・尾翼に複合材を本格採用。最新技術を駆使した新型エンジンや最先端の空力設計により、燃料消費量を現行機材に比べ約40%改善します。

MRJ導入による増収やコスト削減により、年間約50億円の収支改善の効果を見込んでいます。

また、最新技術を導入したエンジンにより、環境負荷が著しく軽減されます。

※1 リージョナルは「地域」の意味で、主に国内線など近距離を結ぶ小型ジェット旅客機

※2 三菱リージョナルジェット(Mitsubishi Regional Jet)の略
YS-11型機以来40年ぶりに日本が独自開発する旅客機

※3 本年4月4日、新会社「三菱航空機株式会社」が事業会社として発足している

MRJの主な特徴

●機体形状

主翼やフラップ等の形状を研究し、風切り音を減らすなど、低騒音化を実現

●機体素材

機体全体のおよそ3割の部品を炭素繊維複合材で構成し軽量化を実現

●エンジン

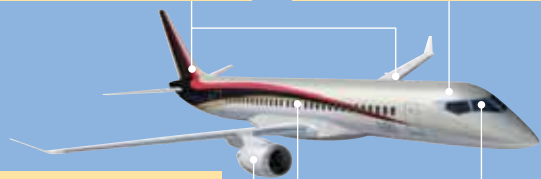
同サイズ他社小型ジェット機よりも3割の低燃費と低騒音を実現

●スリムシート

快適な座り心地と広々とした足元まわりを確保する新構造のシートを採用

●コックピット

4つの大型液晶ディスプレイがパイロットの飛行状況認識を容易にし、安全性を向上



2007年度 おもな出来事

2007

4月 13日 ・ANAグループホテル 関連子会社14社の全株式等の譲渡を決定(6/1実施)

5月 30日 ・アジアナ航空との戦略的提携に合意

6月 1日 ・スターフライヤーとの国内線コードシェアを開始

17日 ・第21回ANA大連国際マラソン開催

25日 ・第62回定時株主総会開催

7月 25日 ・20周年特別塗装機

『FLY! バンダ』

成田～北京線初就航



9月 1日 ・成田～ムンバイ線を

「ANA BusinessJet」で開設

・スカイネットアジア航空と東京

～鹿児島線でコードシェア開始

・シンガポール航空とのコードシェア拡大



4日 ・国内線新搭乗スタイル

“スキップサービス”開始

17日 ・「感動案内人プラン」が“ツアー

オブザイヤー2007”国内旅行

部門グランプリを受賞



29日 ・羽田～上海(虹橋)線就航

12月 6日 ・JR東日本と営業面での

包括提携に合意

18日 ・「国際エクスプレス事業会社

設立」に基本合意

27日 ・第5回「私の青空」国際環境絵本コンクール大賞作品決定



2008

1月 8日 ・国内線時刻表を完全リニューアル

23日 ・「ANAグループ航空輸送事業計画」を策定

31日 ・「ANAグループ2008～11年度中期経営戦略」を発表

2月 20日 ・プロゴルファー石川遼選手とスポンサー契約

28日 ・個人向け無担保社債発行

(発行総額300億円)

29日 ・エアバスA321型機が退役

3月 25日 ・ANA総合研究所「航空産業入門

(オープンスカイ政策からマイレージの仕組みまで)」を初出版



発行: 東洋経済新報社
価格: 2,520円税込み

←…………… 27日 ・次世代のリージョナルジェット機
『MRJ』の導入を決定!